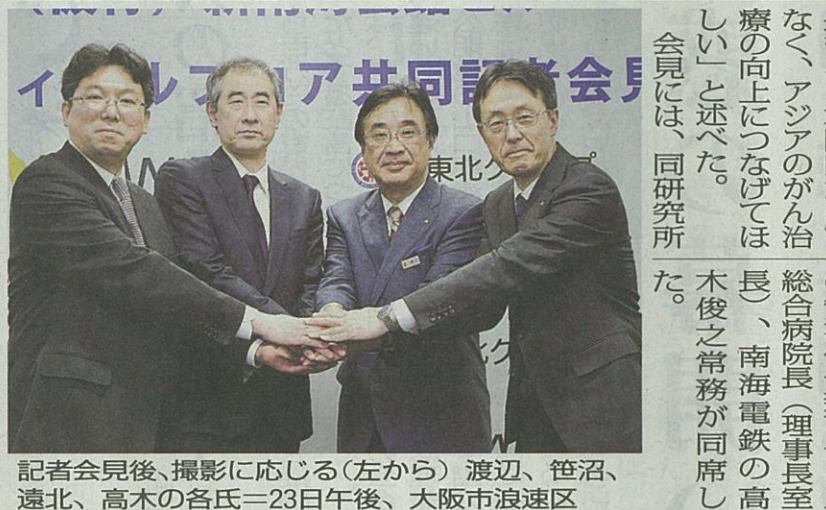


一般財団法人脳神経疾患研究所(郡山市)は二十三日、二〇一八年九月に大阪市に完成予定の複合ビル、新南海会館ビルに大型診療所「南東北グループ 大阪なんばクリニック」を開設すると発表した。南海電気鉄道が建設中の同ビルの中核施設となる。南東北グループは福島、東京、神奈川など一都四県で医療・介護施設など七法人を運営するが、関西進出は初めて。

診療所はビル九階で約千五百五十平方メートルの広さ。一般外来や各種専門外来のほか、人間ドック、企業向け健康診断を扱う。磁気共鳴画像装置(MRI)やコンピューター断層撮影装置(CT)などの検査装置も設置する予定。

脳神経疾患研究所の渡辺文博常務理事は大阪市内で記者会見し、「海外からの(医療目的の訪日客)受け入れの実績があり、関西でも受け入れを積極的に推進したい」と語った。南海電鉄の遠北光彦社



記者会見後、撮影に応じる(左から)渡辺、笹沼、遠北、高木の各氏=23日午後、大阪市浪速区

長も「日本国内だけでなく、アジアのがん治療の向上につなげてほしい」と述べた。会見には、同研究所の笹沼仁一(新百合ヶ丘総合病院院長(理事長室長)、南海電鉄の高木俊之常務が同席した。

全国で初めて交付され、バスに貼られた認定ステッカー



桜交通(白河)を認定

貸切・高速バスを運行する桜交通(本社・白河市)は、「運転従事者脳MRI(磁気共鳴画像装置)健診支援機構」(東京都)から推進事業所の認定を受けた。平成二十八、二十九の両年度でグループ企業を含め全約三百人のドライバーが受診する。

推進事業所を示すステッカーが三営業所のバスに貼り付けられた。ステッカー交付はバス、タクシー、トラック業界で全国初めて。

ドライバーの脳の検査を実施し、運転中の脳疾患などによる突然

運転従事者脳MRI健診支援機構

女性活躍で大臣認定

郡山のニラクは女性活躍推進法に基づく厚生労働大臣認定(えらびし認定)で最高段階の三つ星を取得した。二十三日、福島市の福島労働局で認定通知書交付式が行われた。

郡山市のニラクは女性活躍推進法に基づく厚生労働大臣認定(えらびし認定)で最高段階の三つ星を取得した。二十三日、福島市の福島労働局で認定通知書交付式が行われた。

収支見込み 6837万円の赤字 29年度の阿武隈急行 阿武隈急行(本社・伊達市)は二十三日、



式に臨む(右から)鈴木、谷口、島浦、志賀の各氏

看板を設置する大橋会長(左から2人目)

防霜対策

設置した。本部長の大橋信夫J.A福島中央会長らが園芸部に看板を掲げた。

便着変更 福島空港発着夏ダイヤ

26日から 夏ダイヤをPRする(左から)小林さん、渡辺さん、須田さん

福島空港の発着便は、二十六日から十月二十八日まで夏ダイヤとなる。路線の第三便の出発時



間が二十分遅い午後五時二十分となるなど発着時間が一部変わる。往復便数や座席数は札幌、伊丹両路線とも現行通り。

ANAエアサービス 福島空港サービス部の小林信アシスタントマネジャーと渡辺佳奈子さん、県空港交流課の須田理紗子さんは二十三日、PRのため福島民報社を訪れた。

辛夫局長が谷口久徳社長に通知書を手渡しした。

ニラク人財開発部の志賀健太郎人事務担当が同席

当マネジャーと鈴木淳子人事務担当が同席した。

昨年四月から二月末までの累計輸送人員は二百三十三万二千九百七十人で、前年同期比96.9%だった。事業計画に老朽化した車両の更新に向けた協議の推進、沿線でのウォーキング事業、券売機の更新などを盛り込んだ。

面同一で舗設なアキ
「売とチ(り冷)。い酒